

「NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産業連携等の総合的展開／「超臨界地熱発電」に係る特別講座」（2023 年度～2024 年度）

現場実習（第4回）
超臨界地熱貯留層 地質巡検

概要：

超臨界地熱貯留層のナチュラル・アナログとして、秋田県仙北市、田沢湖西方に分布する白亜紀後期の大水端岩体を例にとり、超臨界貯留層の貯留層構造（超臨界流体流路、き裂構造、鉱物脈、熱水角礫岩、シリカキャップロック等）を露頭で観察し、その結果を基に、現在（第四紀）の火山帯地下に胚胎されているであろう超臨界地熱貯留層構造を理解する。あわせて、地質調査から地質モデルを構築するプロセスを体験し、地質モデルと地化学、物理探査結果との関係を理解する。

シリカキャップロックの性状についても現地で観察する。

日程： 2024年7月8日（月）（小雨決行，雨天中止）

場所：秋田県仙北市 大水端岩体及びその近郊

コース：秋田新幹線 田沢湖駅 10:30集合

（こまち5号 東京発7:32，仙台発9:05，田沢湖着10:25）

10:45 田沢湖駅発（レンタカー）， 11:30 小相沢 超臨界貯留層の痕跡
昼食後 大水端岩体へ移動（超臨界地熱貯留層ならびにシリカキャップロック）

15:30頃まで（シリカキャップロックまでは30分程度沢を歩きます）

17:00 田沢湖駅 解散(17:12,17:34 こまち東京行き，東京までは3時間)

装備：長靴，ヘルメットは各自持参ください。1時間弱の山歩きがあります。沢におります。

ルート工作はあらかじめし行いますので，山歩き，沢歩き初心者の方も参加できます。

沢シューズ等があればより快適に歩けます。

台風等，あらかじめ悪天が予想される場合には前日までに中止の連絡を差し上げますが，小雨決行です。雨具を持参ください。

参加費：無料（旅費・宿泊費は各自で負担願います）

参加申し込み：以下のページからの申し込みをお願いします

https://geoserv.kankyo.tohoku.ac.jp/nedo_hrd/

10人程度（前泊，後泊希望者はお知らせください，おすすめの宿を紹介します）

（6/7 締め切り，原則先着順ですが，地域，バランスを考慮いたします．）

申し込みについての問い合わせ先：nedo_hrd@geoserv.kankyo.tohoku.ac.jp

巡検内容そのほかの問い合わせ先：土屋範芳 noriyoshi.tsuchiya.e6@tohoku.ac.jp

なお，本巡検の地質文献(Geothermics)は以下から入手可能です．

High-temperature silicified zones as potential caprocks of supercritical
geothermal reservoirs

(<https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0375650522001237>)

Supercritical geothermal reservoir revealed by a granite–porphyry system

(<https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S037565051600002X>)